

議 長	副議長	局 長	課 長	主 幹	補 佐	係 長	担当書記

出張報告書

下 関 市 議 会 議 長 殿

令和1年 8月 9日

職氏名 市議会議員 平田 陽道	用 務 地方議員研究会セミナーに参加
期 間 令和 1年 8 月 6日から 令和 1年 8 月 7日まで	出張先 東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング

意見・調査事項

地方議員研究会セミナー

【8月6日(火)】14:00～16:30

決算状況(財政指標)

【8月7日(水)】10:00～16:30

人口減少社会における持続可能な医療・介護を考える

本格的少子高齢社会における社会保障政策を考える

【所見】

初日は財政力指数と経常収支比率の説明があり、単年度の財政力指数が1.0以上の、普通交付税が交付されない「不交付団体」のリストをもとに、地方交付税の算定のしくみや、財政力はなぜ高いほどよいのかについて学んだ。以前の地方財政再建制度の課題や、財政健全化法の概要、地方公会計制度の改革など、具体例の提示もあり、理解しやすかった。

2日目は医師不足問題を中心に、日本における医師養成制度、新専門医制度について学び、医師の働き方改革が喫緊の課題だと感じた。医療の高度・専門化に対応した急性期病院と、対応できない病院の2極化現象が進んでいるとの指摘があり、医療介護人材をいかに集めるかが重要だと思った。医療には産業の側面もあり、雇用につなげていくことが大切だと感じた。

少子高齢社会における社会保障政策では、これからの日本にとっての最重要課題は、激増する高齢者の生活をいかに支えるかであるとの指摘には共感できた。地域に医療人材を招くため、研修機能を強化すべきだと感じた。

参加自治体それぞれの
決算カードを配布、解説

初当選から
10年目まで
の議員向け

「決算カード」から読み取れる!

あなたのまちの本当の
財政状況を知る

歳入の
状況

収支状況

歳出の
状況

in博多

in東京

8月1日
(木)

10:00~12:30
決算状況【歳入】

- ・税と地方交付税
- ・借金と補助金について
- ・臨時財政対策債とは
- ・良い借金、悪い借金

14:00~16:30

決算状況【歳出】

- ・目的別と性質別の違い
- ・歳出のうちの自治体のお金とその他のお金
- ・繰出金と補助費等を見るポイント
- ・積立金と公債費について

8月5日
(月)

8月2日
(金)

10:00~12:30
決算状況【財政収支】

- ・自治体の黒字、赤字って何?
- ・実質収支と実質単年度収支の違い
- ・近年の自治体財政の赤字問題
- ・全国自治体は全て黒字。でも本当は半分以上が赤字のワケ

8月6日
(火)

14:00~16:30
決算状況【財政指標】

- ・自分のまちの財政力を確認
- ・自分のまちは持続可能な状態か?
- ・健全化判断比率ではわからない自治体財政の本当のすがた

講師紹介

もり ひるゆき
森 裕之

立命館大学政策科学部教授、
博士(政策科学)

略歴

1967年大阪府生まれ。大阪市立大学商学部、同大学院経営学研究科後期博士課程中退後、高知大学助手。その後、高知大学専任講師、大阪教育大学専任講師・助教授を経て、2003年から立命館大学政策科学部助教授。2009年より同教授。財政学とくに地方財政と公共事業を専攻。また、社会的災害(アスベスト問題など)についても公共政策論としての立場から考察。

著作
共著

『公共事業改革論』(有斐閣、2008年)
『検証・地域主権改革と地方財政』(自治体研究社、2010年)
『地域共創と政策科学』(晃洋書房、2011年)

論文・
研究発表

『国土強靱化の財政と地域政策(2013年) 社会資本の老化問題(2012年) 公共事業と一括交付金(2012年)等

8月7日(水)

10:00~12:30

人口減少社会における 持続可能な医療・介護を考える

- ・人口減少社会が地域に何をもたらすのか
- ・これからの自治体における最重要指標「合計特殊出生率」とは
- ・これから起きる医師・看護師・介護士等の絶対的な不足
- ・自治体における常識を疑え! - 業務委託は絶対に正しいのか?
- ・人口ビジョンについて考える

14:00~16:30

本格的少子高齢社会における 社会保障政策を考える

- ・国の進める社会保障・税一体改革とは
- ・2025年に向け医療制度改革はどのように進むか
- ・都道府県が国民健康保険の保険者になることの意義
- ・わがまちで地域包括ケアを実現するために何が必要か

8月8日(木)

10:00~12:30

人口減少・地域消滅の 時代における地方議会改革

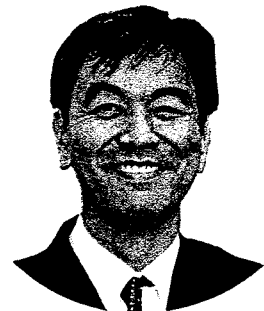
- ・人口減少・地域消滅の時代における医療・介護政策の重要性
- ・時代の変化に対応できない自治体職員
- ・自治体存亡の時代に役割が高まる地方議会
- ・問題解決型の地方議会となる
- ・議員報酬、政務活動費について考える

14:00~16:30

生き残りをかけた 自治体病院経営

- ・自治体病院が生き残るために何が必要か?
- ・総務省の自治体病院政策について考える
- ・常識を疑え! 間違いだらけの自治体病院経営
- ・自治体病院経営の改善のポイントはこれだ
- ・自治体病院の経営形態変更は経営改善につながるか?

人口減少・地域消滅の 時代における 医療政策 in 東京



いせき ともとし

講師

伊関 友伸

東京都立大学法学部法律学科卒。東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。1987年埼玉県入庁(県民部県民総務課調査部)、北埼玉郡大利根町企画財政課長(県派遣)、総合政策部計画調整課主査(計画フレーム担当)、健康福祉部社会福祉課地域福祉担当主査、県立精神医療センター・精神保健福祉センター総務職員担当主幹、2007年自治体経営学経営学部マネジメント総合学助教授、2010年同教授。医学書院「病院」編集委員。

2019.8.7地方議員研究会(東京)①

人口減少社会における 持続可能な医療、介護を 考える

城西大学経営学部

教授 伊関友伸

経歴

- 1987年埼玉県庁入庁
- 県民部県民総務課、川越土木事務所管理課、出納局出納総務課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課、社会福祉課、県立精神保健総合センターに勤務
- 1995～6年度大和町企画財政課長(県派遣)
- 2004年4月から城西大学経営学部助教授
- 総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」委員(2008年度)
- 内閣府「公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会」委員(2015年度～)
- 総務省「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会」委員(2016年度～)
- 医学書院「病院」編集委員
- 研究テーマ:行政学(行政評価、公的組織の変革、地域医療問題、自治体病院の経営変革)
- 博士(福祉経営:日本福祉大学から授与)

本格的少子高齢社会における 社会保障政策を考える

城西大学経営学部

教授 伊関友伸

経歴

- 1987年埼玉県庁入庁
- 県民部県民総務課、川越土木事務所管理課、出納局出納総務課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課、社会福祉課、県立精神保健総合センターに勤務
- 1995～6年度大利根町企画財政課長(県派遣)
- 2004年4月から城西大学経営学部助教授
- 総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」委員(2008年度)
- 内閣府「公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会」委員(2015年度～)
- 総務省「地域医療の確保と公立病院改革の推進に関する調査研究会」委員(2016年度～)
- 医学書院「病院」編集委員
- 研究テーマ:行政学(行政評価、公的組織の変革、地域医療問題、自治体病院の経営変革)
- 博士(福祉経営:日本福祉大学から授与)